

クダツクビリクの翻譯に *bilgasu plni (n) tsch (Möko Tegin)* 即「勳功あるニンイチュメコテギン」と讀んで居るのであるが Müller 氏は *npäxstä dar(a)nt* と讀み「書きたり」の意なる Sogd 語と解して居る。Radloff 氏の讀める *Inintsch Möko Tegin* なる名は碑の漢文についてさがして見ても見當らないのであるが Müller 氏の説ける意味によればまさに一行目の「撰」なる字に相當するのである。尙ほ氏は第三十三圖の (4.a) の四行目を

*pr rβgū yrβäkyäkā(h) čntr dēnā(h)……*

*in grosser Weisheit darin die Religion……*

と讀むで漢文の「妙達明門」なる句と合するものと考がへ、その六、七兩行を

*kē čtβār kirān vidβāyš vyākū nī……*

*welcher der vier Weltgegenden verschiedene Orte und*

*nī ms mn čtβār kirānū 'aγsāvāntē……*

*und auch von der vier Weltgegenden Herren……*

と讀解して各々漢文の「内外」及び「内外宰相」の句に應ずるものとして居る、而して殊に注意すべきことはトルコ族の官名の一部などに屢々現はれて居るトルコ語の *alp* なる語を此碑文ではその八行目に *al pu* と二綴りにして書いて居ることである。此言葉は古くは烏孫の官名にも獵 (*lap, lyp*) として現はれ唐書の突厥傳回紇傳等には合 (*hap, kap*) 乙毗 (*il-pi*) 等の字で記されて居り「勇ましき」といふ意味の言葉であるがトルコ語としては之が二綴りに書かれて居る例は見うけない様である。Müller 氏は此一語の例を以てしても此碑文の言葉が回鶻語でな